

特別支援学級 生活単元学習指導略案

知的障害特別支援学級（はばたき学級 1組, 2組）

14人（1年女子3人, 2年男子3人女子1人, 3年男子1人, 4年女子1人, 5年男子1人女子1人, 6年女子3人）

指導者 T1 西窪 賢蔵 T2 塩田 真也

1 単元名 ようこそ あすはばカレンダー屋へ

2 単元の目標

- カレンダーの作り方, 広報や販売の方法を理解し, カレンダーを作ったり販売したりすることができる。【知識及び技能】
- 多くの人が買いたいと思い, 買った人が満足するカレンダーを作ることができる。【思考力, 判断力, 表現力】
- カレンダー作りから販売活動までの一連の学習に見通しをもち, 友達と協力しながら主体的に学習に取り組もうとする。【学びに向かう姿, 人間性等】

3 単元で育成を目指す「未来の創り手に求められる資質・能力」

表現力	カレンダーの作り方, 広報や販売の方法の工夫について考えたことを言葉や動作で表現する力
協働力	友達と互いに考えを伝え合いながら, 協力してカレンダーを作ったり広報活動や販売活動をしたりする力

4 単元設定の理由

本学級の子供は, 毎年カレンダーを作ってフェスタ山下（PTAバザー）で販売し, 販売で得た売上金を買い物学習に活用している。保護者や地域の方の評判もよく, 子供もカレンダー作りによりがいに感じて楽しみにしている。そして, 本活動は, 協力して作りあげる過程も多く, 一人での活動を好み, みんなと一緒に活動が苦手な子供にとっては協働性を育むよい機会になると思われる。しかし, カレンダー作りや広報活動, 販売活動について毎年少しずつ知識や技能を身に付けているが, 活動によっては十分な知識や技能が身に付いておらず, 活動が滞ることがある。また, 子供は毎年一生懸命カレンダーを作り, その成果に満足しているが, 例年作っているカレンダーを改善してよりよいカレンダーにしようという意欲があまり見られない。さらに, 低学年や転入生が多く, 十分に見通しをもてず, 積極的に活動することが難しいことが想定される。

そこで, 本単元では, 各活動において子供の実態に応じた活動の場を設定することで, 一人一人がカレンダー作りや広報活動, 販売活動に必要な知識や技能を身に付けることができるようにする。また, 客がどんなカレンダーを買いたいと思うか, どんな店に行きたいと思うかという視点を明らかにしてみんなで話し合わせることで, 相手意識を高めて, カレンダーの作り方, 広報や販売の方法を工夫できるようにする。そして, 単元マップや昨年度の写真を提示して見通しをもたせることで, 協力して一つのことを成し遂げようとする主体的に学習に取り組むことができるようにする。

この単元を通して, 自分たちの工夫を生かしたカレンダーをたくさんの人に買ってもらったり, カレンダーのよさや自分の頑張りを称賛されたりすることで, 子供たちが身に付けた知識や技能に自信をもち, 他の学習や生活にも生かそうという気持ちを高めさせたい。また, 友達と協力して一つのことを成し遂げる喜びを実感し, これからも友達と力を合わせて様々な活動に取り組んでいこうという意欲を高めさせたい。

5 指導に当たって

(1) 「自分のめあて」をもたせる教師の手立て

「つかむ・見通す」過程では, 昨年度のカレンダーや販売活動の様子を撮影した動画を視聴させることで, 活動に見通しをもち, 「あすはばカレンダーを今年も作りたい。」「たくさんの人に買ってほしい。」という思いや願いをもてるようにする。

(2) 「学び合い」を活性化する教師の手立て

「活動する」過程では, 「みんなが買いたいと思うカレンダー」等, 話し合う視点を明確にすることで, 相手意識をもって活動の工夫を考えられるようにする。その際, 目標や実態に応じてグループピングし, 「学び合い」が活性化されるように子供の考えをつないだり, 広げたりする。

(3) 学びを振り返り, 学びを価値付ける教師の手立て

「振り返る」過程では, カレンダー作り, 広報活動や販売活動について絵や文章で振り返ることで, 子供が頑張ったことやできるようになったことを実感し, これからの学習や生活に学んだことを生かそうという意欲を高められるようにする。

6 指導計画 ※次ページに記載

7 本時 (6/14)

これまでに子供たちは, 分担して月毎にカレンダーの絵や詩をかいた。そして, 印刷されたカレンダーの製本の工程について確認し, 役割を分担した。

(1) 目標 きれいに製本する方法を考え, あすはばカレンダーを作ることができる。

個人目標	A児(1年)	丁合の工程を理解し, 端を揃えて曲げないように紙を重ねることができる。	H児(3年)	2枚のカレンダー用紙を曲げないように重ねることができる。
	B児(1年)	教師と一緒にカレンダー用紙を重ねることができる。	I児(4年)	自分が考えたテープを真っ直ぐ切る方法を, 友達に聞こえる声で伝えることができる。
	C児(1年)	重ねたカレンダー用紙を, 「どうぞ。」と言って隣の友達に渡すことができる。	J児(5年)	真っ直ぐ切る方法を考えて切り口や長さを揃えて, クラフトテープを切ることができる。
	D児(2年)	カレンダー用紙を1枚取り, 隣の友達に渡すことができる。	K児(5年)	工程を理解し, 速くきれいにクラフトテープを切ることができる。
	E児(2年)	端を揃えて丁合する方法を考え, その考えを積極的に友達に伝えることができる。	L児(6年)	効率よく作業を進めるための方法や場の工夫を考え, テープを切ることができる。
	F児(2年)	端を揃えて丁合する方法や役割を考え, 友達が分かる言葉で伝えることができる。	M児(6年)	クラフトテープを印に合わせて切ることができる。
	G児(2年)	重ねたカレンダー用紙を揃えて, 隣の友達に渡すことができる。	N児(6年)	昨年度の経験を友達に伝え, 協力して速くきれいにクラフトテープを切ることができる。

6 指導計画(総時数 14 時間)

これまで習得した既得の知識		
<p>〈カレンダー作り〉</p> <p>① 各月に関係ある絵や詩をかくことができる。</p> <p>② 重ねたカレンダー用紙を綴じてクラフトテープを貼りカレンダーを作ることができる。</p>	<p>〈広報活動〉</p> <p>③ カレンダーに関する絵や文字を、模造紙にかくことができる。</p> <p>④ 動画やこれまでの製作場面の写真を使ってコマースを作るができる。</p>	<p>〈販売活動〉</p> <p>⑤ お金を受け取り、商品を渡すことができる。</p>

過程	時間	指導のねらいと主な活動内容	知識の理解の質の高まり		授業外での評価
			E児(2年)	J児(5年)	
活動する(12)	1	「学習計画を立てよう」 【指導のねらい】 昨年のカレンダー作りや販売活動の様子を振り返り、学習の見通しをもつことができる。 【学習内容】 どんなカレンダーを作りたいか考える。①②	今年もあすはばカレンダーを作ってみんなに買ってもらいたいな。	みんなに去年よりもたくさん買ってもらうためにどうすればよいのかな。	<p>支援学級</p> <p>〈国語、家庭学習〉 身近なできごとを詩で表現することができたか。</p> <p>交流学級</p> <p>〈生活・理科〉 各季節における動植物の特徴を理解することができたか。</p> <p>交流学級</p> <p>〈特別活動〉 当番活動をする際に、互いに役割を分担し自分の任された仕事を最後までできたか。</p> <p>交流学級</p> <p>〈図画工作〉 道具を正しく使い、材料の特徴を生かして作品を作ることができたか。</p> <p>支援学級</p> <p>〈算数〉 たし算やひき算の計算ができたか。</p>
	3	「あすはばカレンダーの絵や詩をかこう」 【指導のねらい】 各月の様子が分かるように、グループで協力して絵や詩をかくことができる。 【学習内容】 ○ グループで絵や詩を話し合っ決めて。① ○ 書き加えたり工夫したりすることはないか話し合う。①	丁寧に絵や文字をかくと、お客さんが喜んで買ってくれそうだな。	この言葉を○に変えるとみんなが分かる詩になるよ。	
	3	「あすはばカレンダーを完成させよう」 【指導のねらい】 カレンダーを丁合し、クラフトテープや紐を使ってカレンダーを完成することができる。 【学習内容】 ○ 作業の方法を確認する。② ○ 上手にできた点、難しかった点について話し合う。②	絵が完成したぞ。次はどうやってカレンダーの形にするのかな。	もっと早く作業をすすめるためにはどうしたらよいのかな。	
	2	「あすはば屋の看板を作ろう」 【指導のねらい】 看板の目的について考え、店の特徴が伝わる看板を作ることができる。 【学習内容】 ○ どのような看板や飾りを作るか話し合う。③ ○ 製作途中の看板を見て改善点を修正する。③	「揃えて」に気を付けて作ると、きれいなカレンダーになるよ。お客さんも喜んでくれるよね。	友達と方法を話し合っアイデアを出すことで早くできた。協力して役割を分担することは大切だな。	
	2	「あすはばカレンダーを売る練習をしよう」 【指導のねらい】 カレンダーを販売するために、お金の計算の仕方や商品の渡し方について練習することができる。 【学習内容】 ○ 売り方や呼び掛けの言葉を確認する。⑤ ○ 販売の練習を撮影した動画を見て、販売の様子を振り返る。⑤	売るときにはどんなことに気を付けたらよいのかな。	本当のお店みたいに早く商品を渡せるようにしたいな。	
	2	「あすはばカレンダーのコマースを作ろう」 【指導のねらい】 カレンダーのよさや販売の日程を伝えるためのコマースを作ることができる。 【学習内容】 ○ コマースの内容について話し合う。④ ○ 各グループの作品を見合っ、よさや改善点を話し合う。④	丁寧にカレンダーを袋に入れることができた。商品は大切にしないよね。	カレンダーを入れる人とお金を計算する人に係を分けると、早くお客さんに渡せて待たせずにすむね。	
振り返る(1)	1 2月1日 フェスタ山下		コマースや看板を作ったくさんの人にカレンダーのことを知っほしい。	昨年と同じでよいのかな。さらに工夫できないかな。	
	1	「活動を振り返ろう」 【指導のねらい】 本単元でできるようになったことや心に残ったことを、絵や文で振り返ることができる。	文字を大きくしたり色を目立たせたりすると買う人が分かりやすいな。	カレンダーのよさや値段を伝えると、安心して買っ物してもらえそうだ。	
1 2月1日 フェスタ山下			買う人のことを考えて準備をすると、買った人は喜んでくれるし、たくさん売ることができたよ。		

本単元で習得が期待される概念的な知識及び技能

〈カレンダー作り〉	〈広報活動〉	〈販売活動〉
<p>① 幼児から高齢者までみんなが知っている行事や動植物をかくことができる。</p> <p>② 用紙の端をそろえたり、用紙の順番を確かめたりしてきれいに仕上げるができる。</p>	<p>③ 買う人が知りたい情報を、絵や文字で分かりやすく看板にかくことができる。</p> <p>④ 商品のよさや値段等の情報を正しく伝え、客がカレンダーを買いたいと思うコマースを作るができる。</p>	<p>⑤ お金のやり取りを正確にして、商品を早く丁寧に渡すことができる。</p>

新たな学び

<p>「なかよし作品展に行こう」 【指導のねらい】 ○ 道具や材料の使い方を理解し、学級全員で協力して作品を作り上げることができる。</p> <p>○ 公共施設のマナーを守り、作品展の見学に行くことができる。</p>
--

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の手立て
つかむ・見通す (10)	<p>1 学習の流れを確認する。</p> <p>2 前時の学習を振り返り、本時の学習について知る。</p> <p>3 カレンダー作りで気を付けることを話し合う。</p> <p> みんなが買いたいと思うカレンダーは、どんなカレンダーかな。</p> <p>4 本時のめあてを確認する。</p> <p>みんなが買いたくなる、きれいなあすはばカレンダーを作ろう。</p> <p>「自分のめあて」を決める。</p> <p>僕は真っ直ぐテープを切って、みんなが買いたいと思うカレンダーを作りたいな。</p>	<p>○ 「単元マップ」を提示したり、前時の学習を写真で振り返らせたりすることで、本時の学習に見通しをもち、本時のめあてを考えることができるようにする。</p> <p>○ 前時で決めた丁合作業とテープを切る作業のグループ分けを提示することで、役割を自覚して活動に取り組むことができるようにする。</p> <p>○ 「みんなが買いたいと思うカレンダーはどんなカレンダーかな。」と問い掛けたり、「乱丁のカレンダーを提示したりすることで、「きれいい」で「重ね方に間違いのない」カレンダーが買いたいカレンダーであることを確認し、目的意識をもって学習に取り組むことができるようにする。</p> <p>○ ワークシートの形式を、個に応じて記述式や穴埋め式にすることで、「あすはばカレンダーをきれいに作る。」「みんなが欲しくなるあすはばカレンダーを作る。」等の「自分のめあて」を決めることができるようにする。</p> <p>○ 作業前に、丁合作業とテープを切る作業を教師が演じたモデル動画を視聴することで、見通しをもって活動できるようにする。</p> <p>○ 子供が作業の工程をいつでも確認できるように、昨年度の製本活動の写真を掲示する。</p> <p>○ 子供が主体的に関わることができるように、それぞれのグループで誰がどの工程を担当するかについての役割を分担できるようにする。</p>
活動する (30)	<p>5 あすはばカレンダーを作る。 <input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 動く</p> <p>(1) 作業の方法を確認する。</p> <p> カレンダー作りで気を付けることを意識して、カレンダーを協力して作りましょう。</p> <p>(2) 役割を分担する。</p> <p>(3) 丁合作業をする。</p> <p>(3) クラフトテープや両面テープを切り取る。</p> <p>一枚一枚うまくとれないな。あれ、曲がってしまった。</p> <p>切り口が曲がっている。これだと2本きれいに合わないよ。</p> <p>(4) 上手にできた点、難しかった点について話し合い、よりきれいにカレンダーを作る方法や工程を話し合う。 <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す</p> <p> 今よりきれいなカレンダーにするために、気を付けることを話し合いましたよ。</p> <p>強く持たずに優しく持って曲げないようになるときれいにできるね。</p> <p>定規で補助線を引いて、はさみの奥で引くと真っ直ぐきれいに切れるよ。</p> <p>(5) 話し合ったことを基に作業をする。</p> <p>(6) 始めと終わりに作ったカレンダーを比べる。</p> <p> 端を揃えたり、長さを正しく測ったりすることで、きれいで間違いのないカレンダーを作ることができましたね。</p>	<p>(個に応じた具体的手立て)</p> <p>A児 揃えた用紙と揃っていない用紙を示すことで、揃えるイメージを正しくもつことができるようにする。</p> <p>B児 活動の工程を写真で示すことで、見通しをもち教師と一緒に集中を持続して活動できるようにする。</p> <p>C児 友達が「どうぞ。」と言って渡している様子を確認させることで、隣の友達に言葉を掛けながら用紙を渡すことができるようにする。</p> <p>D児 教師と一緒に用紙の取り方を確認し、できた様子を称賛することで工程を理解できるようにする。</p> <p>E児 昨年度の丁合の様子の写真を近くに提示することで、丁合の方法の工夫を考えられるようにする。</p> <p>F児 工夫について発表する際に考えを整理する時間をとることで、安心して発表できるようにする。</p> <p>G児 用紙の重ね方のモデルを示すことで、一人で重ねることができるようにする。</p> <p>H児 みんなで話し合って考えた曲げない工夫について教師と振り返ることで、曲げないように気を付けて用紙を2枚重ねることができるようになる。</p> <p>I児 発表する際に声のボリューム3を意識させることで、聞こえる声で発表できるようにする。</p> <p>J児 これまでではさみを使った経験を想起させることで、よりよい切り方を考えられるようにする。</p> <p>K児 クラフトテープを切る工程の写真を作業場の近くに提示することで、活動に見通しをもって速くきれいにクラフトテープを切ることができる。</p> <p>L児 昨年度使った道具や机の配置などを振り返らせることで、これまでの学習を生かして効率よく作業する工夫を考えられるようにする。</p> <p>M児 はさみの使い方を確認することで、印に合わせて真っ直ぐテープを切ることができるようにする。</p> <p>N児 自分がクラフトテープを切っている写真を提示することで、昨年度の様子を思い出し工程をみんなに伝え、協力してクラフトテープを切ることができるようにする。</p>
振り返る (5)	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p> 用紙を揃えて作ると、きれいなカレンダーを作ることができた。お客さんが喜ぶとよいな。</p> <p>友達と方法を話し合うことで、真っ直ぐ丁寧にテープを切ることができたよ。</p> <p>7 次時の学習について知る。</p>	<p>◆ 自分の仕事を確認し、協力してカレンダーを作ることができたか。(協働力・観察)</p> <p>○ 「今よりきれいなカレンダーにするために、気を付けることを話し合いましたよ。」と発問することで、子供が難しかった点を基に改善の方法についてグループで考えることができるようにする。</p> <p>○ 丁合作業のグループでは教師がファシリテーターとして子供の考えをつなぐことができるようにする。</p> <p>○ テープを切る作業のグループでは、ホワイトボードを使い子供同士で「真っ直ぐ切るためには、はさみの奥で切った方がよい。」等の改善点について話し合うことができるようにする。</p> <p>○ カレンダー用紙や道具を実際に動かしながら改善の方法について話し合うことで、互いの考えを共有することができるようにする。</p> <p>◆ 話し合った工夫に気を付けて、自分の仕事を行うことができたか。(観察)</p> <p>○ ワークシートに「端をきれいに揃えたから、きれいなカレンダーを作ることができた。」等「自分のめあて」に対してできるようになったことを記入することで、子供が本時の学習で身に付けた知識及び技能を実感することができるようにする。</p>

自分のめあて

学び合い

振り返り

